

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	令和元年度第1回松阪市総合教育会議
2. 開 催 日 時	令和2年1月21日（火） 15時30分～16時30分
3. 開 催 場 所	松阪市役所 第2分館 教育委員会室
4. 出席者氏名	出席委員 竹上真人市長、中田雅喜教育長、竹内一教育長職務代理者、長島彩子教育委員、岡田光生教育委員、長井雅彦教育委員 事務局 家城企画振興部長、藤木企画振興部経営企画課長、山路経営企画課政策経営係長、青木教育委員会事務局長、伊藤教育委員会事務局次長、中西教育総務担当参事兼教育総務課長事務取扱、高橋教育総務課長補佐、松田教育政策担当主幹兼教育政策係長事務取扱、藤武公民館マネジメント担当参事兼生涯学習課長事務取扱、永田生涯学習課松阪公民館担当監、刀根スポーツ振興・国体担当参事、前出国体推進室長、熊野国体推進室担当監、松林スポーツ課長、中林飯南飯高コミュニティ・スクール担当参事兼西部教育事務所長事務取扱、塩野学校教育課長、尾崎学校支援課長兼子ども支援研究センター所長、小泉学校支援課子ども安全・安心担当監、湯田子ども支援研究センター指導主幹、上山給食管理課長、本田北部教育事務所長
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	2人（内、報道関係2社）
7. 担 当	松阪市企画振興部 経営企画課 TEL 0598-53-4319 FAX 0598-22-1377 e-mail kei.div@city.matsusaka.mie.jp

・協議事項

- 1) 学校の活性化について
- 2) 松阪市教育大綱について

◎内容録は別添

令和元年度 第1回松阪市総合教育会議議事録

開催日時 令和2年1月21日(火) 15時30分～16時30分

開催場所 松阪市役所 第2分館 教育委員会室

出席委員 竹上真人市長、中田雅喜教育長、竹内一教育長職務代理者、長島彩子教育委員、岡田光生教育委員、長井雅彦教育委員

事務局 家城企画振興部長、藤木企画振興部経営企画課長、山路経営企画課政策経営係長、青木教育委員会事務局長、伊藤教育委員会事務局次長、中西教育総務担当参事兼教育総務課長事務取扱、高橋教育総務課長補佐、松田教育政策担当主幹兼教育政策係長事務取扱、藤武公民館マネジメント担当参事兼生涯学習課長事務取扱、永田生涯学習課松阪公民館担当監、刀根スポーツ振興・国体担当参事、前出国体推進室長、熊野国体推進室担当監、松林スポーツ課長、中林飯南飯高コミュニティ・スクール担当参事兼西部教育事務所長事務取扱、塩野学校教育課長、尾崎学校支援課長兼子ども支援研究センター所長、小泉学校支援課子ども安全・安心担当監、湯田子ども支援研究センター指導主幹、上山給食管理課長、本田北部教育事務所長

傍聴者 2人(内、報道関係2社)

1. 市長あいさつ

改めまして、皆さんこんにちは。今日は大変お忙しい中、お集まりをいただきありがとうございます。ごぞいます。

総合教育会議は、重要な議題をずっと取り扱ってきており、平成28年度が小学校のプールのあり方と教室のエアコン、平成29年度は飯南高校の活性化とフルマラソン、市民大学について、平成30年度がスポーツの振興と小学校の卒業式の服装、地区水泳についてご議論いただき、一定の結論をいただきました。

本日は学校の活性化と松阪市の教育大綱についてご議論いただきたい。主なところは学校の活性化です。

【松阪市総合教育会議設置要綱第4条に基づき、竹上市長が議長となり進行】

市長)

では、事項書に沿って会議を進めてまいります。松阪市総合教育会議設置要綱では、会議は公開することとなっておりますが、非公開情報などが含まれる場合には、非公開とすることもできます。

本日は、事項書のとおり学校の活性化についてと松阪市教育大綱についてご協議いただく予定であります。

非公開情報が含まれる案件ではございませんので、本日の会議は公開とさせていただきますのでよろしく申し上げます。

2. 協議事項

1) 学校の活性化について

①小規模校の現状について

市長)

では、事項1の学校の活性化についてですが、大きく2項目についてご協議いただければと思います。

短い時間で有意義な議論となりますように、別紙1の会議の論点のとおり、本日、ご協議いただく論点をまとめております。こちらをご確認いただきながら説明をお聞きいただき、ご意見等をいただけたらと思います。

では、松阪市の小規模校の現状について、事務局より説明をお願いします。

【教育総務課より松阪市の小規模校の現状について説明】

市長)

事務局より松阪市の小規模校の現状について説明がありましたが、小規模校のメリット・デメリットについて、ご意見等をお聞かせいただければと思います。

委員)

活性化は再編も含めて考える必要がある。学習面、生活面、学校運営面、地域との関わりがあるので、一概に適正規模12学級以下であれば再編をかけるということとはできないと思う。

学校の活性化のために、小規模校ではいろいろな取組をしている状況ですが、生徒が少ないと切磋琢磨しにくい。また人間関係が固定化されたり部活動がしにくい面がある。反対に大規模校であれば競争社会でマイナスの面もあるかもしれない。そういったところも含めて議論してもらった方が良いと思う。予算的なものも含めて。

委員)

シビアな問題なので、地域の保護者の意見も取り入れて考えていって欲しい。

委員)

小規模校は、先生と密に教育をうけることができるため羨ましい部分もあるが、コミュニティが小さいため、大人になって社会に出た時に苦勞するのではないかと。教育上や子どもだけのことを考えた場合、ある程度の規模の学校で教育を受けた方が良いのではないかと。

委員)

今の数字を見ていると、人数は減っているがギリギリ運営できるかというところ。人口変動等を長いスパンで見ると人口も生徒数も如実に減っていく。行政や施設の面から考えると、統廃合などの問題はありますが、長いスパンで考えていく必要があると思う。

市長)

ここで決めるものでもないと思っている。じっくりとした議論が必要。

小学校、中学校を全部。幼稚園・保育園は16~17か所に集まってもらって、保護者の方の意見を聞いてまわった。小規模校は学力が高い。デメリットはクラス替えができない。自我の発達に伴い、大人になるまでの段階で切磋琢磨する人が多いことも大切である。クラス替えがキーワード。全部が全部できるとなると、とてつもない話になるので、地域の方の思いや、保護者の方の思いもあるので、じっくり腰を落ち着かせたような検討会的なものを考えていった方が良いように思う。

②学校規模・学校の適正配置について

市長)

学校規模・学校の適正配置の資料は、文部科学省が出しているもの。この部分について専門的に議論することの善し悪しや検討会を設けることについて、ご意見等あればいただければと思います。

委員)

地域の特性があるので、学校について個々に考えた方が良いと思う。

小規模校は競争や切磋琢磨はできないが、小規模であるから自分の存在観があり、主体性が伸びるといふ部分もある。

もう少し時間をかけて議論し、提言してもらい決めたら良いと思う。

委員)

いろいろな人が入った場で、話し合いをして考えた方が良いと思う。

小規模の良い面を残しつつ、保護者、専門家、地域の人も入って詰めていく必要がある。

委員)

特別委員会のようなものを設けて、揉んでいただかないといけないと思う。

教育長)

子どもたちのどういう学びが自己の夢を実現できるのか、その子の夢を実現するために力をつける教育環境はどのようなものか。市長と小学校、中学校の学校現場を回らせていただいた中で、具体的な手立てを予算化したり改善を図っていただいた。ただ、学校規模についての具体的な手立てや方向性が、子どもにとってどうなのかという観点しかなかった。

委員の皆さまからあった、いろいろな方々に入っただいて、その方向性を決めていただくということは、非常に必要だと思いました。具体的に来年度予算に提案していきたい。

【学校支援課より小規模校の取組の説明】

委員)

財政面で見たとときに、小規模校は一人当たりの経費が高くなるというデメリットがありますが、個々の学校で生徒一人当たりいくらかかるのか出されたことはありますか。

市長)

出したことはないです。学校教育でずっととくるのは建物改修です。

市レベルで言うと、年間予算 700 億円前後。松阪市であれば 600 億円台の財政規模だと思う。鎌田中学校の建て替えは 30 億円。そのうち国の補助が 3 分の 1。残りは市の負担です。600 億円の中で、短期間に 30 億円の投資をするのは大変。学校施設は戦後の高度成長期に一度に建てているので、改修時期が一度にやってきていてそこが厳しい。一人当たりの日常の経費はそれなりにかかっているが、取り立てて教育費を削ろうという話ではない。

委員)

小規模校の良いところは学力と子どもを密に見てもらえるところ。ある意味小規模校は羨ましいというのが本音です。中身的には良いと思うが、小さい頃からある程度的人数で育つ方が良い人材が育つ率も高くなるだろうし、生き抜く力も育つのではないか。

何年後かに人口が減ることを想定して、今近隣の明和町や多気町も考えてきているので、松阪市も今考える必要のある時期に来たのではないかと思う。

委員)

新聞に体力テストの結果が低下してきていると書かれていた。一つの原因として、統廃合によるスクールバスの利用が多くなったことにより、歩くことが減り体力面で落ちてきているということであった。体力面という見方もあるのではないか。

市長)

今、スクールバスを使っているのは、西中、伊勢寺小、嬉野宇気郷、飯南、飯高は全校です。

この項につきましては、検討会のような形で議論していくことにしたいと思います。

2) 松阪市教育大綱について

【経営企画課より松阪市教育大綱について説明】

市長)

松阪市教育大綱について説明がありましたが、皆さんのご意見をお聞かせいただきたいと思ひます。1年間延ばすことをこの会議で諮らないと延ばせないひので。また、内容でも結構です。次回に向けてここで言っておいていただくと入れやすいです。

委員)

英語教育等も始まってくるひので、5ページの教育ビジョンのところひ、国際的な学びの場づくりや国際的に活躍できるといった内容を入れてはどうか。

委員)

グローバルな人材育成、AIがこれからの目玉なひので、入れて考えてもらうと良いひのではないか。

市長)

教育大綱については法律が変わって初めて作った。一つの成果は、「ふるさと・松阪を愛し、自らの夢を抱く子どもを育てます。」の部分をかかなり出し、4つ目の教科書の三井高利ができた。市長は支える立場なひので、中身に口を出すのはどうかという思ひがある。教育は教育者が関わってやっていくもの。大綱というより教育ビジョンがきちんとしていれば良いと思ひう。

総合計画を令和2年度に作っていくひので、基本的なところを落とし込んで、教育長、教育委員会でビジョンを作ってもらひう。

大綱は大まかなことしか書いていないひので、具体的なものは教育ビジョンで議論していただく。

それでは、皆さま方に1年間延長を認めていただいたということひでよろしいですか。

委員) 承認

3) その他

市長)

では、その他の項について、事務局から何かありますか。

事務局)

今年度はこの1回の開催となります。

次年度につきましては、教育大綱の策定もありますひので、開催をお願いしたいと思ひますが、日程につきましては現在未定でございますひので、開催日が決まりましたら、おってご連絡させていただきます。よろしくお願ひいたします。

市長)

長時間にわたりありがとうございました。

では、これにて令和元年度第1回松阪市総合教育会議を閉会させていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。

《16時30分 終了》